

ポスター No.138

企業・住民・行政 地域のことは 地域みんなで考える 地域力向上

伊豆の国市保健福祉・こども・子育て相談センター

【説明】

◇ ベンチプロジェクト

地域への思いが込められたベンチを、市内の見守りの目のある地域 71 か所（令和 3 年 9 月末時点）に設置。ベンチには【笑顔の花を咲かせよう！ ベンチプロジェクト】と製作者、制作 No. が書かれたプレートが貼用されている。閉じこもりがちな高齢者や障害のある方、孤立しがちな子育て世代等が足を向け、地域と触れ合う機会をつくり、地域の絆づくり・コミュニティの活性化に繋げている。ベンチには制作側・設置場所提供者・見守り側の役割があり、地域のどんな人たちもそれらになりうる点で地域共生社会の姿も実現している。

ベンチ制作には伊豆の国市建設業協会の会員、さらに大工組合・地元高校・シルバー人材センター工作同好会、NPO 法人等が、設置場所には商工会・商店街・区（公民館や憩いの家）・個人宅等、生活に身近な場所に協力をいただいている。

◇ まごころ農園

伊豆の国市の第三セクターである「(株) 大仁まごころ市場」が休耕地を借上げ、実習農地と居場所農園として地域の人に開放している。

実習農地は、定年退職者など農業を通じて、地域での生きがいをより感じ、農家の担い手増加を目指す。土づくりから出荷までの過程を地元の農業のプロから教わりながら進めることができる。苗や資機材などは大仁まごころ市場が提供し、出荷する作物も大仁まごころ市場の売り上げとなる。

居場所農園は、閉じこもりがちな高齢者をはじめ、地域の人たちの生きがい、集う場所作りが目的。農作業が介護予防（フレイル）につながったり、デイサービスや体操教室など現在ある居場所に馴染まない（特に男性高齢者）方の居場所となっている。

この“実習農地”と“居場所農園”の 2 つを『まごころ農園』といい、休耕地の活用・高齢化による農業従事者の減少対策・生きがいづくり・介護予防・居場所づくり等様々な地域の課題に取り組む仕掛けとなっている。

◇ お出かけ地域支援

道の駅伊豆のへそ（(株) 時之栖）が所有しているバスを活用し、市内のニーズのある地区（主に公共交通空白地帯）へ送迎し、移動支援を図るとともに、道の駅の中庭スペースやホールにて地区いきいきサロンや介護予防教室を開催。あわせて、道の駅併設の「農の駅」にて新鮮な野菜や地元手作りの総菜、調味料などを購入し、買い物支援も掛け合わせて展開している。

「道の駅」には大きく 3 つの機能（①「安全で快適な道路交通環境の提供」②「地域振興への寄与」③「防災拠点機能」）がある。地域の観光・道路情報の発信や平時からの防災啓発教育のための情報発信機能を持つだけでなく、地域の農産物の販売場所としての地産地消の拡大や、施設内スペースを活用した地域交流の場としての地域振興施設としての役割もあり、『地域コミュニティの拡大効果』も得やすく、災害時には緊急医療情報なども提供し、地域の方々にとって身近な施設としての役割も機能的に持ち合わせている。



「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」2021年 出展ポスター